

## 特によくあるトラブル事例

### トラブル事例1

集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法(乾式)でテスト施工を行い、良好な結果を確認した。本施工を目視検査した所、アスベスト粉塵が飛散していた。(例:作業員が白くなっていた)なぜそうだったか?



#### 原因

アスベストは非常に微細な繊維です。よって集塵装置はHEPAフィルター付き(0.3 $\mu$ 以下)を使用していますので通常の使用では15分程度で目詰まりを起し、吸引力が低下します。その状態で除去作業を行うことで十分吸引せず周囲に飛散させてしまいます。

### トラブル事例2

外部隔離養生内で除去作業を行っていたが、風の影響で一部隔離養生が破れアスベスト粉塵が飛散した。



#### 原因

隔離養生は、ビニール養生でありその施工法は、テープ等で簡易接着させて施工するので強度がないため、風に弱く、台風などの突風が吹けば大規模に崩壊する可能性があります。

剥離剤を使用して吹付塗材を除去した、除去後の石綿調査で下時調整材からアスベストを検出した。

剥離剤を使用し、下地調整材をスクレーパー等を使用して強引に除去を行った、気中濃度測定でアスベスト繊維を検出した。

集じん装置付きディスクグラインダー工法で除去作業中における集塵機内のアスベスト廃材排出中に隔離養生内で作業を行わなかったため、アスベストが飛散した。

集じん装置付き超高圧水洗工法で排出されるアスベスト含有水をろ過せず放流した。

## その他トラブル事例

石綿調査後アスベストを検出したので、剥離剤を使用して除去を行ったが、下地調整材を除去できなかった。

集じん装置付きディスクグラインダー工法で除去作業中にHEPAフィルター付き集塵機が詰まりグラインダー周辺でアスベストが飛散した。

剥離剤併用高圧水洗工法で除去を行った、周囲養生を行わず作業した為アスベスト塗材が飛散した。